

チーム医療シンポジウム 2013

「日本の医療を支えるため、チームは進化します。～筑波大学附属病院のチーム医療人材養成～」を開催

病院総務部総務課

11月23日（土）13時30分からけやき棟エントランスホールにおいて、チーム医療シンポジウム 2013「日本の医療を支えるため、チームは進化します。～筑波大学附属病院のチーム医療人材養成～」を開催しました。

本シンポジウムは、平成23年度に文部科学省「チーム医療推進のための大学病院職員の人材養成システムの確立」に採択された「患者中心の医療を実践する人材養成の体系化」事業により行われました。事業では大学病院における専門職種の積極的な活用、他職種間協働の推進、効率的なサービスの向上を目的としてチーム医療や役割分担を推進するとともに、それに必要な各種医療スタッフの人材養成のための教育プログラムの開発・実践を支援することにより、医療・生活の質の向上、医療スタッフの負担軽減、医療安全の向上が図られています。

今回のシンポジウムでは、日ごろは外から見えにくいチーム医療人材の養成についてご報告することで、日本の医療を支える筑波大学附属病院の活動について、より深く知っていただくことを目指しました。当日は大学や附属病院の教職員、地域の保健医療関係者や医学・医療系大学等の学生、患者さんご家族、128名が参加し、報告と質疑応答で一緒に明日の医療について考えました。



開会挨拶をされる
五十嵐病院長



事業報告をされる
総合臨床教育センター
前野部長



会場の様子



各医療チームの報告者との質疑応答の様子



閉会挨拶をされる白川副病院長



事業内容等詳細は、以下の URL の事業ホームページにてご紹介しています。
http://www.hosp.tsukuba.ac.jp/team_iryu/index.html